

PVY-N イムノクロマト

ジャガイモ Y ウイルス N 系統測定試薬

試薬構成

構成品	数量
イムノクロマト試薬	1 個
抽出試薬 (PBS、ステンレスビーズ)	1 本
スポイト	1 本

(2~8℃保存)

操作法

■測定方法

(注意：各試薬は、室温に戻してから使用して下さい。)

1. 抽出

- 1) ジャガイモの葉の一部 (2cm×3cm, 約 0.1g) を採取する。
- 2) 抽出試薬のボトルの蓋を開け、採取した葉を小さくちぎって入れる。
- 3) ボトルの蓋をしっかりと閉め、30 秒間激しく振る。

2. 測定

- 1) イムノクロマト試薬を袋から取り出す。
- 2) スポイトを使用して抽出液を吸い取り、イムノクロマト試薬の滴下口に 2 滴 (約 90uL) 滴下する。
(※抽出液を吸い取る時は、できるだけ破砕した葉を吸い取らないようにして下さい。)

3. 判定

- 1) 抽出液を滴下して 5 分後に判定部のラインを目視で確認する。

○陽性

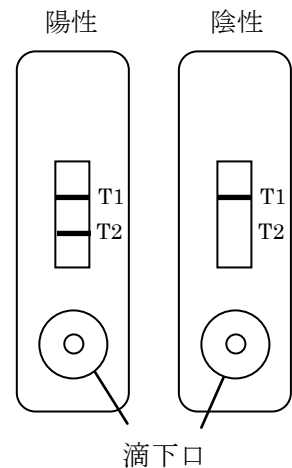
判定部 T2 及び判定部 T1 にラインが観察されます。

○陰性

判定部 T2 にラインが現れず、判定部 T1 のみにラインが観察されます。

○判定保留・再試験

- 1) 判定部 T2 及び判定部 T1 のどちらもラインが観察されない場合は測定が正しく行なわれていません。再試験を実施して下さい。
- 2) 判定部 T2 のみにラインが観察される場合は、抽出試薬に添加する葉の量を減らして抽出し、再試験を実施して下さい。



使用上の注意

1. 使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、十分な理解の上で測定を行なって下さい。
2. キットの構成品は、室温 (20~30℃) に戻してから使用して下さい。
3. 抽出液滴下後、時間の経過に伴い判定部 T2 にラインが現れることがあります。判定時間 (5 分) を厳守して下さい。

貯 法

2~8℃で保存。

使用期限

製造後 6 ヶ月 (外箱、ラベルに記載)

製造元

株式会社ホクドー

〒063-0849 札幌市西区八軒 9 条西 10 丁目 4 番 28 号

TEL.011-641-7507 FAX.011-644-9209